

Indonesia

- インドネシア独立宣言(1945)
- スカルノ大統領就任(1945)

鹿島の代表プロジェクトとできごと

1950

- インドネシア共和国成立(1950)



本誌1961年9月号表紙(ネヤマ排水トンネル)

- 戦後賠償工事始まる

◆カリプランタス総合開発①
ネヤマ(トゥルンアグンサウス)排水トンネル(1959-1961)
当社初となるインドネシアでの工事(当社として2番目の海外工事)で、東部ジャワのカリプランタス総合開発の一環。湿地帯を農地にするとともに、水害を無くすためのトンネルである。その後、洪水調節、灌漑、発電などを目的としたカラシカテダム、カリシコダムに携わった。



カラシカテダム(1964-1972)



カリシコダム(1964-1972)

1970

- スハルト大統領就任(1968)

◆アサハプロジェクト②
スマトラ島北部のトバ湖を水源とするアサハ川の豊かな水量と大きな落差を利用して水力発電を行い、アルミニウムを精錬するプロジェクト。精錬能力は東洋一の規模だった。当社はシグラグラ地下発電所、スメルター電解工場などの施工を現地業者へ技術移転を行いながら進めた。



シグラグラ地下発電所(1978-1983)

◆ヌサンタラビル(1964-1972)
日本初の超高層ビル・霞が関ビルの構造設計者である武藤清副社長(当時)の指導のもと、H型鋼による初の29階建てオフィスビルの構造設計が行われた。地質や振動測定に基づき緻密なデータを作成し、当社技術研究所で実物大実験を実施。順調に工事は進んでいたが、1965年の政変により鉄骨建方を完了した状態で工事が一旦中止された。その後、当社JVにより1970年に工事が再開され1972年に無事完成した。



ヌサンタラビル第1期(1964-1967)



ヌサンタラビル第2期(1970-1972)

★ワスキタ・カジマ社設立(1975)
インドネシアの建設大手ワスキタ・カリヤ社との合併会社を設立し、その後、同国での建設請負工事に対応する。外国資本の参入規制からだが、「建設工事を通じて経済発展に寄与する」という海外で建設工事に参画する際の基本姿勢にも一致した。



★鹿島守之助会長(当時)がインドネシア共和国の功労勲章受賞(1969)
この勲章は、インドネシアが外国民間人に授与する最高の勲章で、日本人として初の受賞。永年にわたり建設のみならず政治、外交、文化、科学分野に貢献し、平和にして繁栄する国際社会実現に指針を与える鹿島平和研究所の設置、日本インドネシア協会会長として両国の友好親善に寄与してきた功績によるものだった。

1980

- ◆アチェ肥料工場③(1981-1983)



スメルター電解工場(1979-1983)

- ◆ポロドゥール史跡公園⑪(1986-1988)

- ◆アチェ河洪水調整工事(1989-1991)④

◆ラトゥ・プラザ(1977-1980)
ラトゥとはインドネシア語で女王という意味。オフィス、レジデンス、商業施設、レストラン、映画館などを配し、女王の気品と威容を誇るCity in City(街の中の街)と称された。当社が設計を行い高層層にはHIRC工法を採用。ワスキタ・カジマ社が施工を担当した。



ラトゥ・プラザ(1977-1980)

1990

- アジア通貨危機(1997)



◆ウオノレジョダム(1994-1999)⑤



◆スララヤ火力発電所⑥(1993-1997)



◆メラク・バカウフェリーターミナル(1998-2002)⑧



◆カレベダム(2005-2011)⑩



◆タムリンタワー(ATDプラザ)(1989-1991)



◆スラバヤ空港(2001-2006)⑨



◆コマツインドネシア新組立工場(2008-2009)



◆マンダムインドネシアチピトン工場(2006-2007)

2010

- ハビビ大統領就任(1998)
- ワヒド大統領就任(1999)
- メガワティ大統領就任(2001)

- スマトラ沖地震(2004)

- ユドヨノ大統領就任(2004)

- 日本インドネシア国交樹立50周年(2008)

- ユドヨノ大統領再選(2009)



◆ユニ・チャームインドネシア第1工場(2009-2010)



◆味の素インドネシアカラワン工場(2011-2012)



◆日立建機インドネシアチピトン工場(2010-2012)

★アジア通貨危機の影響によりスナヤン開発を一時凍結(1998)

★スナヤン開発スタート(1989～)

★スナヤン開発を再スタート(2005)

- ◆プラザ・スナヤン(ショッピングセンター)(1994-1995)

- ◆セントラル・スナヤン1(オフィスビル)(1996-1997)

- ◆アパートメン・プラザスナヤンA棟&B棟(アパート)(1996-1998)

- ◆セントラル・スナヤン2(オフィスビル)(2005-2007)

- ◆アパートメン・プラザスナヤンC棟&D棟(アパート)(2010-2012)

- ◆セントラル・スナヤン3(オフィスビル)(2008-2010)



スナヤン開発マスタープラン

★KOA(カジマ・オーバーシーズ・アジア)設立(1988)
KOA設立に伴い、KOAがワスキタ・カジマ社の出資者となる。

★カジマ・インドネシア社(1998)
ワスキタ・カジマ社の株主変更手続き完了を機に、社名をカジマ・インドネシア社と改める。



「スナヤン・スクウェア」全景(2013年7月現在)